

西海支所では、毎年1月16日に安全祈願・安全講習会を行っています。九州では、旧暦の1月16日(今年は3月3日)の山神祭りの日に、安全祈願を行う所が多いと聞きますが、西海支所では年の初めでもあり、新暦の1月16日に安全祈願を行っています。

安全祈願には、従業員25名と西海地区の理事・監事、並びに県、市の担当者に出席いただきました。

◆ 安全祈願

午前8時30分から、西海市の松島神社の宮司さんをお願いして執り行いました。

宮司さんの安全祈願で唱えられる祓いの祝詞奏上は、どんな意味かご存知ですか？

宮司さんは、毎回、安全祈願の際には祝詞の意味がわかるようにと、書面にして参加者に配布されます。現代語訳もありますので、非常にわかりやすくなっています。



「大きな禍は未然に退け給えと
祓え給い清め給い」(おおきな災いは小さく、小さな災いは未然に退けて頂きますよう祓い清めて下さい)
と奏上されました。

長崎南部森林組合西海支所、並びに西海製材所
新年安全祈願祝詞

此の處を祓い清め、神籬刺し立て招ぎ奉り坐せ奉る、掛けまくも畏き久々能知神、大山祇神、産土大神等の御前に、斎主岩松正高恐み恐みも白さく。長崎南部森林組合の長田中一樹いを始め、長崎南部森林組合西海支所の長竹野弘い、及び此れに關係う諸人等、大神等の御前に参集い、遠つ御祖より受継ぎ伝え来れる木々の恵みを崇め奉り謝び奉りて、新しき年の新しき月の、年の始めの今日の吉日に、報賽の御祭、新年の清祓いの神事仕之奉らんと、御饌神酒種々の味津物を捧げ供え拜み奉る如此の状を、平らけく安らけく聞し食し給いて、大神等の廣く厚き御恵みと、奇しく尊き御策りを以ちて、罪穢もし有らば神直日のおなおびに見直し聞直し給い、工匠等が日夜毎に働き勤む尊き業を輔翼い救け幸え給いて、業に従う諸人等に手の蹟い足の蹟い無く、取り設けし機械の動き滞る事無く、大きな禍いは小さく、小さな禍いは未然に退け給えと祓え給い清め給いて、長崎南部森林組合の誉れは、差昇る初日の光の如く、弥益々に輝かしめ給いて、弥高く弥遠長に立学えしめ給えと、恐み恐みも白さく。

平成三十年一月十六日

従業員の A 氏は「AED を持ってきてください」と言うところを、「LED を持ってきてください」と言って、みんな大爆笑だったそうです。救急時には間違えないでくださいね！



そして、訓練の締めくくりは、一人ひとり試験を受け、合格者に救命講習終了証が交付されました

作業現場等で、もしも救命措置が必要な場面が起こったら、今回学んだことを役立てて、同僚を救ってくれるものと願っています。

西海支所、今年はゼロ災で行こう！ よろしくお願ひします。